

選手とソーシャルメディア

平成 29 年度第 1 回 SNS 利用の現状とその対策に関する会議「選手とソーシャルメディア」(平成 29 年 7 月 20 日開催 JAPAN TOP LEAGUE 主催セミナー) での上田大介トレンシス代表講演のまとめです。講演者のご了解を得た上、日本テニス協会ホームページに掲載いたします。

1. ソーシャルメディアとは

個人と個人、個人と組織が自由につながり、誰でも自由に簡単に世界に向けて情報を発信することができる媒体のこと。

2. SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは

フェイスブック、ツイッター、ラインなどソーシャルメディアを構成するサービスのこと。

3. ソーシャルメディアの利点と欠点

自分の価値を上げもするし下げもするメディア。

4. ソーシャルメディアのある社会とは

ソーシャルメディアを使っている・使っていないに関係なく、個人としての発言や行動がソーシャルメディアを通じて発信・共有・拡散され、明日の自分の価値を作られたり損ねられたりする社会。

5. 有名人や有名人となる可能性がある個人が置かれている状況

- ① インターネットの中でアクセスをカネに変えようとする人たちが暗躍しており、ソーシャルメディアから出てくる個人の失敗を狙っており、こうして収集された情報を、タイミングを測って「まとめサイト」でアップして、広告収入を得ている。この種の人々は、個人がソーシャルメディアを使っていない場合、その個人の家族、友人、関係者のソーシャルメディアを狙い撃ちに、個人の失敗やスキャンダルの種を探しまわる。
- ② 「新人だから、有名じゃないから大丈夫」ではない。それは誰でも爆発的に注目される可能性を持っており、注目され始めてからの対応(例えば、過去のデータの削除)では手遅れ。
- ③ つまり、スポーツ選手のいる世界はライバルとの戦いの世界であると同時に、身の回りで起こり得る様々なリスクとの戦いの世界ともなっている。

6. ダメージの拡散

- ① SNS リスクがトラブルになった場合、情報の拡散、炎上が発生し、その影響は自分だけに止まらず自分が所属している学校や企業等にもダメージを与える事例が多く発生している。
- ② 従って、選手は絶えず自分の後ろには学校や企業、チームというブランドがあることを認識する必要がある。

7. SNS 炎上事例

(1) 就寝中の写真、(2) 合宿時の悪ふざけの写真、(3) シートベルト不着用の写真、(4) 未成年の飲酒の写真、(5) 歩道をバイクで走行の写真、(6) LINE メッセージをスクリーンショットして SNS で配信

8. 情報化と選手のリスクマネジメントとは

- ① 自分がさらされているリスクが何かを把握し、自分の選手としての価値を守る術を身につけ、行動すること。
- ② そして、リスクに対する判断基準を持ち、最新のリスク情報を入手し、リスクに対する判断基準をアップデートすること。

9. 選手がさらされているリスクとは

- ① 自ら陥りやすい・犯しやすいリスク — ドーピング、暴力・ハラスメント、差別、違法賭博、未成年の飲酒と喫煙、交通事故、交友関係、SNS 関連
- ② 選手に忍び寄るリスク — 反社会的勢力からの接近、薬物、八百長の勧誘、金銭トラブル、美人局等

10. リスク対策の基本

- ① 今、自分に求められていること、明日の自分、1年後の自分、将来の自分がしたいことを知ること。
- ② そして、明日の自分、1年後の自分、将来の自分のために今、自分がしなければならないことを行動に移すこと。
- ③ つまり、注目が集まった時に揚げ足を取られたり、邪魔をされたりせずに、選手・チームが競技だけに集中できる準備を今から始めること。

11. 今からできるソーシャルメディア対策

- ① 自分のソーシャルメディアの中で自分に関する情報履歴を点検
- ② 自分のソーシャルメディアの中での他人に関する情報履歴の点検
- ③ 他者のソーシャルメディアの中で自分に関する情報を点検

以上